令和5年度 地域医療構想における具体的対応方針

1. 基本情報

病院名：生駒市立病院

医療圏：西和

2. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

◎急性期病院として地域医療に貢献すること。

- ・救急患者を「断らない病院」を目指します。
→24時間365日、医2名名体制の当直及び専門医のオンコール体制、看護師・放射線技師・検査技師・薬剤師を配置し、CT・MRI・X線・血液等の諸検査、心臓カテーテル検査・治療、内視鏡検査・手術が可能な救急受入体制
- ・急変時の対応が可能な「面倒見のよい病院」を目指します。
→増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の受け入れを行っています。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるときは明らかなるようご説明ください。

◎主要疾病における市立病院の役割

○がん

地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院・奈良県総合医療センター）と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制の充実を図ります。

○脳卒中

近畿大学奈良病院、奈良県総合医療センター等との連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断・治療できる体制の充実を図ります。

○急性心筋梗塞

奈良県総合医療センターと連携のもと、緊急の心臓カテーテル検査・PCIが24時間365日可能な体制の充実を図ります。

○糖尿病

かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療の充実を図ります。

○救急医療

救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24時間365日受け入れ体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実を目指します。

奈良県総合医療センター、近畿大学奈良病院等との連携のもと、救急患者の状態に応じた適切な救急医療を実施します。

また、新型コロナウイルス疑似症患者の救急受入をします。

○周産期医療

自院での出産数は増加傾向であるが、それに留まらず一次診療所のバックアップ体制を確保します。（ハイリスク分娩は地域周産期母子医療センターとの連携体で対応）

○小児救急医療

小児の救急対応、入院患者の受け入れ等小児二次医療体制の整備を行い、北和小児科二次輪番における受け入れ体制を充実します。

◎地域包括ケアシステムの構築に向けての市立病院の役割

○医療と介護との円滑な連携体制を構築します。

退院支援チーム、入退院調整マニュアルの推進による円滑な入退院を推進します。「やまと西和ネット」を活用し、患者の医療情報や介護情報をICTで共有することで、円滑な医療と介護の連携を推進します。

○在宅医療に取り組むかかりつけ医等のバックアップ体制を構築します。

在宅患者の急変時の受入の24時間対応可能な体制を確保します。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかなるようにご説明ください。

◎がん治療や脳卒中・急性心筋梗塞・周産期等の超急性の救急医療における連携推進の取組

→自圏域、近隣の高次病院との連携関係の強化に取り組みます。

◎市内等の救急医療、小児二次救急における連携推進の取組

→市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、救急患者の市内受入率の向上を目指し、輪番病院のバックアップの役割を果たします。

→さらなる小児科常勤医師の確保等院内の体制整備に取り組み、北和小児科二次輪番における受入体制を充実します。

◎在宅医療の支援における連携推進の取組

→市内診療所との病診連携を進めていくため、医師会への入会を目指します。

→地域の医療機関からの紹介患者の受入及び積極的な逆紹介に取り組みます。

→医療連携登録医、連携施設の登録数の拡大に取り組みます。

→地域の医療機関への医療機器の共同利用の促進に取り組みます

3. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※「(2) 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について」を踏まえた具体的な計画について記載してください
 ※「(3)」では選択肢によって条件設定を行い、回答内容によりそれ以降の問いに対し、システム上回答不要としている部分があります。この条件設定に不都合がある場合（回答することが適しているが選択できない場合など）は「4. その他」へ回答を打ち込んでください。

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
 ※R5年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告及び別紙様式「急性期機能の細分化の報告」の数値を記入してください。
 ※用語の定義は、病床機能報告と同様です。
 ※最大使用病床数は1年間（R4.4.1～R5.3.31）に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

		H28年度	R5年度		(床)		
		(a) 許可 病床数	許可 病床数	最大使用 病床数	(b) 将来 R7年度	(b-a) H28年度 からの 増減	
一般 病床 ・ 療養 病床	高度急性期	7	8	8	60	53	
	急性期	重症	51	202	200	150	99
		軽症	100				-100
	回復期						
	慢性期						
	休棟中（今後再開する予定）	52				-52	
	休棟中（今後廃止する予定）						
	合計	210	210	208	210		
精神病床							
結核病床							
感染症病床							
介護医療院							

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下[1]～[16]の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

※選択肢については、あてはまるものにチェックをつけてください。

[1]がん

[1-1]当該領域について対応しているか？

はい

[1-2]手術の実施

肺、呼吸器 消化器 乳腺 泌尿器、(男性)生殖器 (女性)生殖器

[1-3]化学療法の実施

対応している

[1-4]放射線治療の実施

対応していない

[1-5]拠点病院等の指定

[1-6]今後の方向性

地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院・奈良県総合医療センター）と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制の充実を図ります

[2]心筋梗塞等の心血管疾患

[2-1]当該領域について対応しているか？

はい

[2-2]24時間心血管疾患の急性期医療の実施

対応している

[2-3]緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施

対応している

[2-4]経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施

対応している

[2-5]心疾患に対する外科手術の実施

対応している

[2-6]冠動脈バイパス手術の実施

対応していない

[2-7]急性大動脈解離の手術の実施

対応していない

[2-8]大動脈瘤手術の実施

対応していない

[2-9]心血管疾患等への早期リハビリ

対応している

[2-10]今後の方向性

奈良県総合医療センターと連携のもと、緊急の心臓カテーテル検査・PCIが24時間365日可能な体制の充実を図ります。

[3]脳卒中等の脳疾患

[3-1]当該領域について対応しているか？

はい

[3-2]脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施

対応している

[3-3]脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施

対応していない

[3-4]脳出血(くも膜下出血を含む)への対応

対応していない

[3-5]くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術

対応していない

[3-6]くも膜下出血に対するコイル塞栓術

対応していない

[3-7]脳出血に対する開頭血腫除去術

対応していない

[3-8]脳血管疾患等への早期リハビリ

対応している

[3-9]奈良県脳卒中地域連携パスへの参加

参加していない

[3-10]今後の方向性

近畿大学奈良病院、奈良県総合医療センター等との連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断・治療できる体制の充実を図ります。

[4]救急医療

[4-1]当該領域について対応しているか？

はい

[4-2]救急告示病院の指定を受けているか？

はい

[4-3]大腿骨骨折への対応

対応している

[4-4]病院群輪番制への参加

参加していない

[4-5]小児科病院二次輪番体制への参加

参加している

[4-6]今後の方向性

・救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24時間365日受け入れ体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実を目指します。

奈良県総合医療センター、近畿大学奈良病院等との連携のもと、救急患者の状態に応じた適切な救急医療を実施します。

また、新型コロナウイルス感染症疑い患者の救急受入れを行います。

・市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、引き続き、関係機関と協議を行うとともに、救急患者の市内受入率の向上を目指し、市内等輪番病院や休日夜間応急診療所のバックアップの役割を果たします。

・小児二次医療体制の整備に努め、北和小児科二次輪番における受入体制を充実します。

[5]リハビリ

[5-1]当該領域について対応しているか？

はい

[5-2]心血管疾患等への早期リハビリ（再掲）

対応している

[5-3]脳血管疾患等への早期リハビリ（再掲）

対応している

[5-4]回復期リハビリ病棟入院料届出の有無

無し

[5-5]訪問リハビリの実施

対応していない

[5-6]通所リハビリの実施

対応していない

[5-7]今後の方向性

現状、術後の急性期から回復期・維持期まで幅広い患者様のリハビリを実施しています。今後ますます増加することが予測される整形疾患の患者様や、未だ終息していないコロナ等による絶食・長期臥床で栄養状態が低下している患者様に対し、継続したリハビリを行い早期離床と摂食機能向上により早期退院を目指す必要があります。

スタッフが働きやすい環境を整え人員の確保に努めることにより、より一層手厚いリハビリを提供できる体制を構築していきます。

[6]在宅医療

[6-1]当該領域について対応しているか？

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

いいえ

[6-2]在宅療養支援病院の届出の有無

[6-3]在宅療養後方支援病院の届出の有無

[6-4]訪問リハビリの実施（再掲）

対応していない

[6-5]今後の方向性

増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行います。

入退院支援チームの推進、生駒市の入退院調整マニュアルの積極的な活用により、市内等の医療機関や介護事業者等との連絡調整と情報共有による円滑な入退院の推進を図ります。

[7]訪問看護

[7-1]病院看護師が当該領域について対応しているか？

いいえ

[7-2]同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？

いいえ

[7-3]今後の方向性

[8] ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

[8-1]「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）について
定めている

[8-1]今後の方向性

透析患者に対してACP指針に沿った働きかけを実施している。
今後は病院の看取り患者に対しても行っていく予定。

[9]小児医療

[9-1]当該領域について対応しているか？

はい

[9-2]小児入院医療管理料の算定

している

[9-3]新生児特定集中治療室管理料の算定

していない

[9-4]小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）

参加している

[9-5]今後の方向性

小児の救急対応、入院患者の受け入れ等小児二次医療体制の整備を行い、北和小児科二次輪番における受入体制を充実します。

[10]周産期医療

[10-1]当該領域について対応しているか？

はい

[10-2]分娩の取扱い

対応している

[10-3]ハイリスク分娩管理加算の算定

している

[10-4]今後の方向性

- ・産科交流会、母親学級の開催や市の産後ケア事業に参入することで、産後の授乳指導・育児相談や母子のケア等を行い、母親の育児等を支援します。
- ・小児科と連携することで、新生児、乳幼児に係る母子医療体制を整備・充実します。
- ・ハイリスク分娩への対応は、奈良県総合医療センターと連携します。

[11]災害医療

[11-1]当該領域について対応しているか？

はい

[11-2]災害拠点病院の指定を受けているか？

いいえ

[11-3]DMA T 指定病院の指定を受けているか？

いいえ

[11-4]EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加

参加している

[11-5]今後の方向性

- ・大規模災害発生時において、傷病者の受け入れや医療救護に対応可能な体制を引き続き整備します。
- ・生駒市災害対策本部及び生駒市医師会災害対策本部と緊密な連携協力体制の下、市内4病院とともに後方支援病院として災害時医療を担います。

[12]へき地医療

[12-1]当該領域について対応しているか？

いいえ

[12-2]へき地医療拠点病院の指定を受けているか？

[12-3]今後の方向性

生駒市立病院の立地から当該領域に該当しない

[13]新興感染症等の感染拡大時における医療

[13-1]診療・検査医療機関の認定を受けているか？

はい

[13-2]新型コロナウイルス感染症の陽性患者入院受入を行っているか？

ただし自院に他疾患等で入院していた院していた患者は除く。

はい

[13-3]「感染症患者の受入を想定した研修や訓練」を、年1回以上自院で実施しているか？

はい

[13-4]下記訓練に年1回以上参加しているか？

行政機関（保健所等）や他医療機関等が主催する「感染症患者の受入を想定した研修や訓練

はい

[13-5]下記訓練を、自院で年1回以上実施しているか？

新興感染症の発生に備えた病床確保に当たってのシフトや応援に係る訓練・点検、院外から移送された患者の受入の流れを考慮した訓練

はい

[13-6]今後の方向性

新型コロナウイルス感染症対策として、引き続き、奈良県や市、医師会をはじめとする関係機関と情報交換しながら、PCR検査体制、新型コロナウイルス感染症患者の入院受入体制及びワクチン接種体制を整備しています。

新興感染症の感染拡大時においても同様の体制整備に努めていきます。

[14]医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

[14-1]当該領域について対応しているか？

はい

[14-2]基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？

いいえ

[14-3]協力型臨床研修病院の指定を受けているか？

いいえ

[14-4]臨床研修協力施設であるか？

はい

[14-5]専門研修の基幹施設であるか？

いいえ

[14-6]専門研修の連携施設であるか？

いいえ

[14-7]今後の方向性

令和5年11月2日付けにて奈良県より協力型臨床研修指定病院の受けた。
奈良県総合医療センターと連携し、初期研修医を受け入れていく。

[15]医師の働き方改革

[15-1]医師の宿日直許可の取得状況

一部取得済み（取得している範囲（例：●●科以外、など）を記入してください）（病棟・産婦人科）

[15-2]今後の方向性

宿日直許可については取得できていない救急については今年度内にて取得予定としている。
一部の医師についてはフレックスな勤務時間を認めている。

[16]看護職員の研修機能

[16-1]特定行為研修の指定研修機関の指定申請予定はあるか？

ない

[16-2]特定行為研修の協力施設の申請予定はあるか？

ない

[16-3]今後の方向性

4. その他

--